

切磋琢磨

能登香島中学校
学校だより 第4号



令和8年7月1日

〒926-0178 七尾市石崎町香島1丁目96番地 TEL:0767(62)2837 FAX:0767(62)4707

HP: <https://cms.ishikawa-c.ed.jp/notokj/>

高校説明会を終えて ～自分の進路を見つめる機会として～

6月9日(火)、市内外から高等学校8校にお越しいただき、全校生徒を対象とした高校説明会を実施しました。当日は、希望された保護者の皆様にもご参加いただきました。

各校からの説明は、15分程度と限られた時間ではありましたが、学校の特色や教育方針、進学・就職の実績などについて、丁寧に分かりやすくお話しいただきました。

受験を控える3年生にとってはもちろん、1・2年生にとっても自分の将来を見据える貴重な学びの時間となりました。今回の説明会が、生徒一人ひとりの進路選択に向けた意識を高めるきっかけとなることを期待しています。



【3年生】

- ☆ 七尾市周辺の高校から遠くにある高校まで、様々な学校の説明を聞くことができました。各学校の大学進学率、就職率、部活動や学校行事について知ることができたので、これを参考に自分の進路を決めていこうと思いました。
- ☆ 高校説明会を聞いて、それぞれの学校の特色や独自の学科・部活動などが深く学べました。その他にも、先生が進路・就職・資格などを全力でサポートする心が伝わったなと思いました。どの高校に入っても楽しくて、ちゃんと学べるんだなと思いました。

【2年生】

- ☆ 自分の行きたいと思った高校が、はっきりとしてきました。どの学校もたくさんのことに力を入れていてすごかったです。自分は、高校卒業後は大学に行きたいと思っていて、将来の夢も決まっているから、早いうちに高校を決めて勉強を頑張りたいと思いました。部活動にも力を入れている高校が多かったのいいと思いました。
- ☆ 高校説明会を聞いて、どの学校にもいろいろな強みがあり、自分の就職したいところや進学したいところへの学びもあって良いと思いました。そして部活動や学校行事などにも特徴があって、楽しそうだなと思いました。高校を決める時、就職したいところや進学したいところなど様々なことを考えて選びたいと思います。

【1年生】

- ☆ この高校もたくさんのことに力を入れていることが伝わってきました。高校によって学科やコースなど、さまざまなことがあったと分かりました。今日の話を聞いて、どこの高校に行こうかとても悩みました。将来、未来の自分のために、今できることを一生懸命に取り組んでいこうと思いました。
- ☆ 私は高校説明会を聞いてみて、部活がメインの学校もあれば、勉強や機械系がメインの学校もあって、選ぶのが大変そうだなと思いました。中には値段が高い機械を使って勉強する学校もあっておどろきました。そして、まだ1年生で、月日はまだまだあるけど、今日聞いた高校説明会を生かして自分の行きたい高校を決めようと思いました。

洗濯の授業 ～日常生活からの学び～

6月2日(火)、官公学生服株式会社 石井雅秀氏を講師にお招きし、2年生の家庭科の授業の一環として「お洗濯の授業」を実施しました。

「自分の身体や毎日着用する衣類を清潔に保とう!」をテーマに、界面活性剤の働きや洗濯表示の見方等について、衣服を大切にすることや、健康な毎日を送ること、清潔な印象を与えることなどについて、実験も交えながら分かりやすく説明していただきました。

生徒たちは、実際に汚れに見立てたインクが浮き上がる様子を見て学びを深めると同時に、毎日洗濯してくれる家族の思いやりにも目を向けていたようでした。



植松努氏 講演会・ロケット教室

～思うは招く ゆめがあればなんでもできる～

6月17日（水）、昨年度に引き続き、本校卒業生である松原裕子氏をはじめ「くさつ未来プロジェクト」の皆様のご支援を賜り、小説・ドラマ「下町ロケット」のモデルとしても知られる植松電機代表取締役 植松努氏をお招きし、講演会とロケット教室を実施しました。

講演会では、植松氏がこれまでの歩みを振り返りながら、「思うは招く。ゆめがあればなんでもできる。」「『ちがう』は『すてき』。」といった力強いメッセージを生徒たちに語りかけてくださいました。

講演後、生徒会長の山口凜乃さんが「周りや違うと不安になったり、合わせてしまったりすることがあるけれど、『ちがう』は『すてき』を大切にしたいと思いました。」と感謝の言葉を述べました。

その後、3年生を対象にロケット製作と打ち上げ体験を行いました。生徒たちは自分の夢や希望を込めたロケットを作り上げ、青空に向かって力強く打ち上げました。自分の手で作ったロケットが飛び立つ瞬間、表情には達成感と未来への期待が輝いているように見えました。



「思うは招く」「ちがうはすてき」とおっしゃっていて、この言葉から人は一人ひとり違うし、まったく同じことはないから、人と比べるのではなく自分らしさを大切にしようと強く思いました。

そして「好き」がパワーにという言葉から自分の好きなものをはっきりと大切にすることで仲間を増やして可能性を広げることができるということで今、自分が好きなものやことをこれからも大切にしていきたいと思いました。

植松さんは本を読もうと言っていました。僕は小学生の時から漫画を読むのが大好きでした。小学生の時は小説を文字だけだからと読んでいなかったですが、中学に入って小説を読んでもみるととても面白くて良いものだと思います。

失敗する事は恥ずかしいことではないと聞いて、前は失敗することがこわかったけど、失敗する事をこわがらないようにしたいです。

私はいつも周りに合わせてしまうので、植松さんが言っていた「ちがうはすてき」という言葉を聞いて、周りやちがうことは、おかしいことじゃないと改めて思いました。

植松さんは、普通や前例にとらわれずに自分のやりたいことを見つけて実際に夢をかなえることができているので、これからは私も周りに合わせすぎないようにするために、自分の意見をもって、その意見を言えるように頑張りたいです。

「ちゃんとしているふり」という話を聞いて、少し自分もそうかもしれないなと思った。

「できるわけない」という言葉に負けなかった人がいたから飛行機ができたということに、自分も難しいことでも最初から諦めずに少しは挑戦してみようと思った。「だったらこうしてみたら」が大切ということが自分もしてきたことで話に共感できた。今までの自分に足りなかったことを植松さんの講演で学んだことを生かして補っていきたい。

これまでの自分を振り返ると「失敗したくない」「できなかったら、どうしよう」と考えて行動をためらってしまうことが多かったです。その結果、本当は挑戦できたかもしれないことに一歩踏み出せず、後から後悔することもありました。

今回の講演を聞いて、自分は無意識のうちに「どうせ無理」と思い込んでいたことがあったと分かりました。これからは、まず行動することを意識したいなと思いました。

私の印象に残った「ちがう」は「すてき」という言葉を聞いて、私は今まで周りに流されたり、合わせたりすることが多かったけれど、「みんなと違っていいんだ。」「ちがうというのがAIに負けない人材になるんだ。」とポジティブに変換することができました。

これからの未来、決められるのではなく、自分でちょっとでもいいから「夢」を見つけ、それを達成できるよう、自分で決めて、可能性を広げて、出来ることを増やしていきたいです。

マナー講座 ～わくワーク体験に向けた大切な気づき～

6月9日（火）、2年生を対象に校内支援センター支援員（加賀屋勤務）齊藤裕子先生を講師として「マナー講座」を実施しました。

2年生は、今月14日（火）～16日（木）にかけて、地域の事業所の皆様のご協力のもと、「わくワーク体験（職場体験学習）」に出かけます。今回の講座はその事前学習として行ったものです。

齊藤先生からは、『職場体験で大切なこと マナーについて』と題して、挨拶や言葉遣い、接客の基本などについて、演習を交えながら丁寧に指導いただき、生徒たちは社会の一員として求められる態度や心構えについて、多くの気づきを得ることができました。

今回学んだことを実際の職場体験でしっかりと生かし、働くことの意義や社会に貢献することの尊さなどを実感する貴重な機会にしてほしいと思います。



職場体験へ行くにあたって不安なこともあったけど、マナー講座をしていただいて安心できました。ありがとうございます。

あいさつや礼儀をしっかりと職場体験の日までに覚え、教わった礼の種類やお客さんにかける言葉を使い分けられるようにします。

他にも、この人と働きたくないと思われないう、身だしなみに気をつけたりして一緒に働く人やお客さんに悪い印象を与えないようにしていきたいです。

自分はこの話を聞いて思ったのが、自分は昔からマナーっていうものをあまり気にしてなくて、周りの大人からはよく怒られてばっかでした。

でも段々と年が上がってきて最近をよくマナーを意識しています。人を見かけたら先に「おはようございます」や「こんにちわ」を言っています。それでもまだできていない事はたくさんあります。人との関わり方や余計なことを言ってしまう。自分はそれをどうしたらなおるのかなってよく考えていました。

この話を聞いてやっと分かりました。まだ理解していないところは多くありますが、それでもちゃんとマナーを意識していきます。

今回のマナー講座では、あいさつや言葉づかい、身だしなみの大切さについて学びました。

これまであまり意識していなかったことも多く、特に、第一印象がとても大事だという話が心に残りました。挨拶はただ言うだけでなく、相手の目を見て、はっきりと伝えることが大切だと知りました。また「お願いします」や「ありがとうございます」などの言葉をきちんと使うことで相手に良い印象を与えられることも分かりました。

職場体験では学校と違い、社会の一員として見られるので今回学んだマナーをしっかりと意識して行動したいと思いました。

基本的なマナーはだいたい知っていたけれど、お辞儀の種類や角度、返事、清潔感など職場で大切なこと、大事なことを詳しく勉強できました。

相手の気持ちや立場を考えて行動するところ、明るい挨拶などは学校と同じだなと思いました。加賀屋さんでの接客対応や実際にあった事例などもあって分かりやすい講座でした。

私たちは両親や先生たちに支えられて生活できているという事が分かりました。そんな人たちが一生懸命働いてくれるおかげで職場体験に行けるということに感謝して職場体験に行きます。

全能登大会、そして県大会へ

6月10日（水）、全能登大会および中部日本吹奏楽コンクール石川県大会に臨む生徒たちの壮行式を行いました。

式では、それぞれの大会に向けて、これまで積み重ねてきた努力を存分に発揮し、悔いのない挑戦をしてほしいという思いを込めて、全校生徒からエールを送りました。

また、私からは、「指導してくださった先生方やコーチ、応援してくれる家族のため…。はもちろんです。勝った喜びや嬉しさ、負けた悔しさを味わうのは自分自身、ぜひ、自分のため、自分たちのために頑張してほしい。」と話しました。続けて、3年生に向けては、「これから先、3年生はどこかの大会で引退することになります。どこで終わってもいいようにやり切してほしい。」ということも伝えました。

結果、男女ソフトテニス部、男子バドミントン部、女子バレーボール部、竹田まりもさん（水泳）が県大会へ駒を進めることとなりました。学校の代表として、そして能登地区の代表として、努力を重ねてきた時間を自信とし、次の大会もやり切ってくれることを期待します。



異文化に触れる ～イギリスの文化から考える“違いを尊重する力”～

6月11日(木)、七尾市国際交流員 アレックス(アレキサンダー・ニコラス・フューベル)氏をお迎えし、2年生が「イギリスと多文化共生」をテーマに授業を行いました。

アレックス氏からは、イギリスでの生活や食文化、祭り、様々な国の人々との交流など、実体験を交えたお話をしていただき、生徒たちは「世界の広さ」と「文化の多様性」を肌で感じる時間となりました。

他国の文化を知ることは、その背景にある価値観や生き方を尊重することにつながります。そしてそれは、目の前のその人自身を尊重する姿勢へとつながっていきます。これからの社会では、生徒たちは今以上に多様な人々と関わり合いながら生きていくことになります。今回の学びを通して、「違いを受け入れ、互いを尊重し合う心」を育むきっかけとなることを願っています。



教育図書贈呈 ～本との出会いが世界を広げる～

6月8日(月)、日本教育公務員弘済会石川支部より、教育図書を寄贈していただきました。日頃から、図書室には、たくさんの生徒が訪れ、それぞれの時間を楽しんでいます。今回の図書も手に取った生徒が新しい世界に触れ、心の視野を広げる機会になればと思います。今回、寄贈していただいた図書は次の3冊です。

『つめたいよるに』 (江國香織・新潮文庫)	日常の中のささやかな出来事や心の揺れを透明感のある筆致で描いた短編集です。
『ポッコちゃん』 (星新一・新潮文庫)	ユーモアや風刺、意外な結末が魅力の筆者自選による50編のショートショート集です。
『戸村飯店青春100連発』 (瀬尾まいこ・文春文庫)	大阪の下町の中華料理店を舞台に兄弟の成長と絆を温かく描いた青春小説です。

7月の主な行事

- 1日(水) 生徒集会
- 2日(木) 期末テスト、SC来校
- 3日(金) 期末テスト、生徒会交流会
NOKA読書
- 5日(日) 社会を明るくする運動中能登大会(生徒会)
- 7日(火) 人権教室、SC来校
- 8日(水) 校納式・壮行式、本とも号
生徒指導サポーター来校
- 9日(木) シェイクアウトいしかわ、SC来校
- 10日(金) NOKA読書、漢字検定
- 11日(土) 県体(テニス、バド、バレー、水泳)
- 12日(日) 県体(テニス、バド、バレー、水泳)
- 14日(火) わくワーク(～16日2年)
SC来校
- 15日(水) 生徒指導サポーター来校
- 16日(木) SC来校
- 17日(金) 大掃除、終業式、校納式、安全点検日
- 18日(土) 石川県吹奏楽コンクール
- 21日(火) 夏季休業(～8/31)
- 22日(水) 通知表渡し
- 23日(木) 通知表渡し

8月の主な行事

- 3日(月) 少年の主張能登地区大会
- 4日(火) サイエンスチャレンジ
- 6日(木) 北信越大会(テニス、バド、バレー)
- 7日(金) 北信越大会(テニス、バド、バレー)
- 8日(土) 北信越大会(水泳)
- 11日(火) 学校閉庁日(～17日)
- 19日(水) 公開ケース研究会(生徒会)
- 27日(木) 授業日、校内テスト(3年)
第2回到達度調査(1・2年)
- 28日(金) 授業日、校内テスト(3年)
第2回到達度調査(1・2年)
- 30日(日) PTA奉仕作業(予定)
- 31日(月) 安全点検日

【全能登中学校体育大会水泳大会】 栄光の足跡

竹田 まりも 100m自由形 第1位
200m自由形 第1位

【2026年度日本SC協会北陸支部第47回長水路対抗水泳大会】
竹田 まりも 100m自由形(女子13～14才) 第3位

【全能登中学校体育大会ソフトテニス大会】
男子団体 第3位
森澤 星斗・畠山 友彰 男子個人 第1位

【全能登中学校体育大会バレーボール大会】
女子 第1位

【全能登中学校体育大会バドミントン大会】
男子団体 第3位
高橋 佑圭 男子シングルス 第2位

【第42回梅野尾杯争奪ジュニアバドミントン大会】
山田 和功 中学2年生男子の部 優勝

【第69回中部日本吹奏楽コンクール石川県大会】
七尾中・能登香島中 中学生小編成の部 銀賞

Let's call. オアシスライン

～親と子のなんでも電話相談室～

TEL 0767-52-0783

受付時間: 13:00～16:00(月曜～金曜)

相談内容: 悩んでいること、困っていること

*匿名でのお電話で構いません。秘密は守ります。

～オアシスライン担当～

